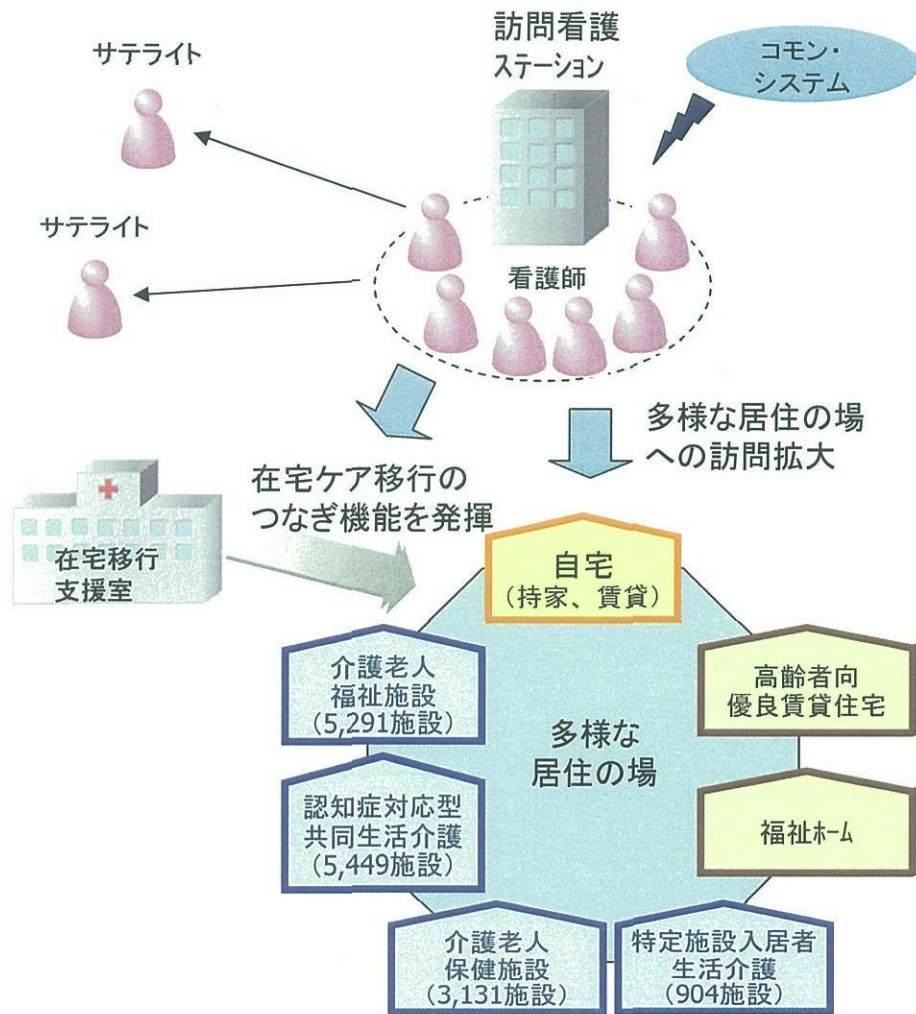


# 規模拡大・機能拡充のイメージ



## 【サテライト事業所の設置推進】

訪問看護ステーションの規模を拡大し、地方にはサテライトを設置し、利用者数に応じて職員を異動するなど、フレキシブルな運営を行う。

## 【IT化促進、コモン・システム確立】

訪問看護の煩雑な事務・請求業務を外部化し、訪問看護の専念体制を構築。24時間電話対応、衛生材料供給など、利用者にとって便利で安心な仕組みを構築。

## 【多様な居住の場への訪問拡大】

利用者宅以外にも、特養、グループホーム、有料老人ホームなど、訪問看護師の活用が広がっている。職員の増員等により、これらの多様な居住の場への訪問を拡大し、安定収入の拡大を図る。

## 【在宅移行支援・ターミナルへの対応】

訪問看護師が「つなぎ機能」を果たし、利用者が安心して退院し、在宅療養が送れるための機能を果たす。自宅での看取りだけでなく、多様な居住の場に出向いて、看取りに対応する。

2015年の年間死亡数は推計140万人  
 ⇒医療機関の病床数増減なし・介護施設が現行の2倍整備と仮定すると、自宅や多様な居住の場での死亡が年間42万人